CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築）　I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)H1Oなんば新築工事
建設地	浪速区元町2丁目
建物用途	事務所
建築主	野村不動産(株)
設計者	西松建設(株)
竣工年	2028年4月　予定
構造/階数	S造　/　地上9階
敷地面積	328.76 ㎡
建築面積	240.07 ㎡
延床面積	2124.87 ㎡

1-2 外観

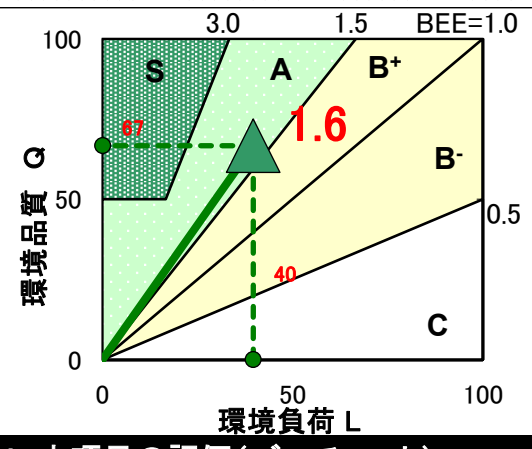


2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

A

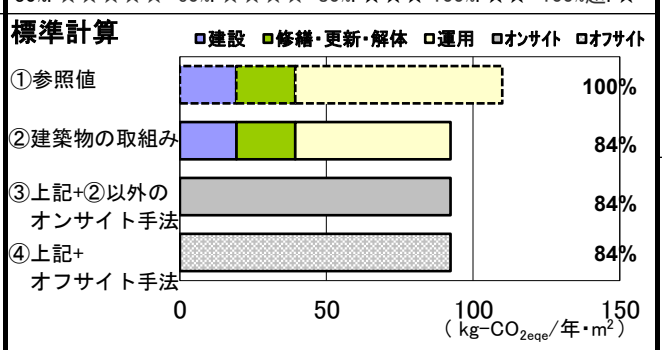
BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



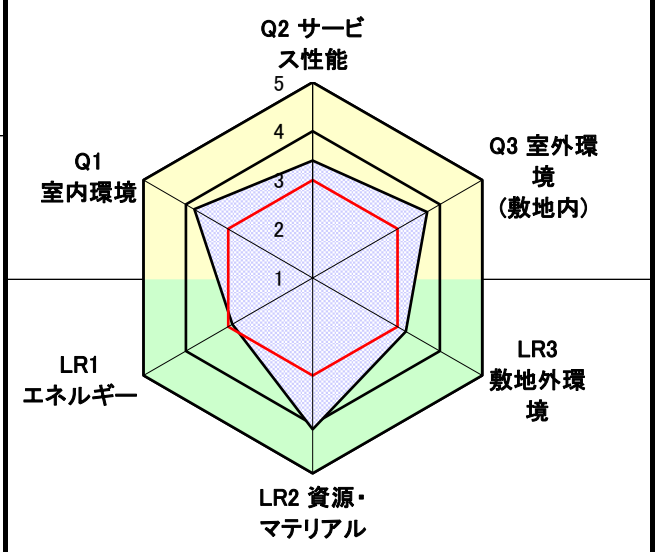
2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響ﾁｬｰﾄ)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

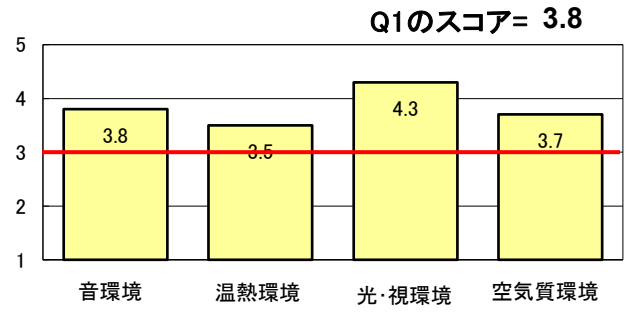


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.6

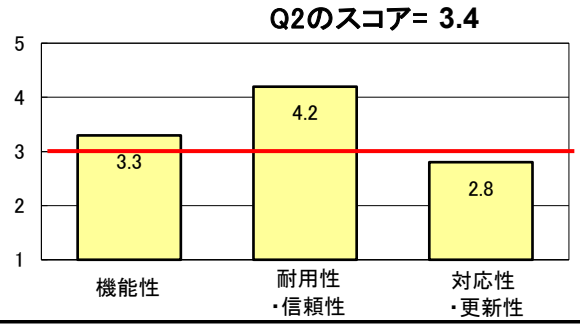
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8



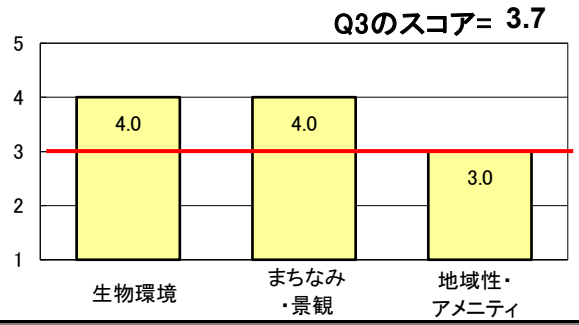
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4



Q3 室外環境（敷地内）

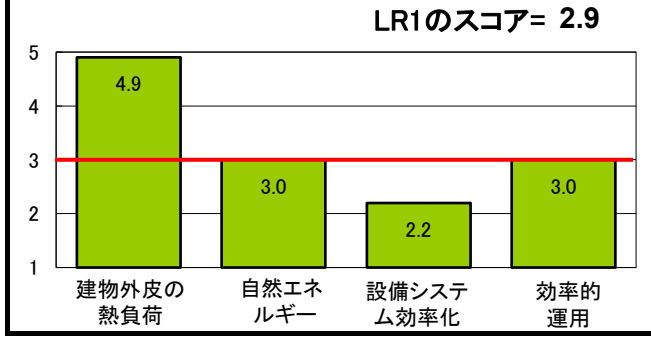
Q3のスコア= 3.7



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.4

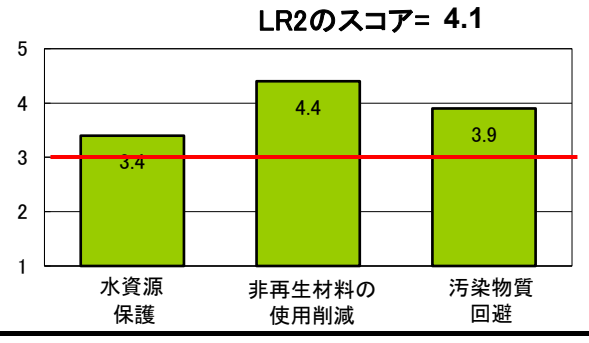
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9



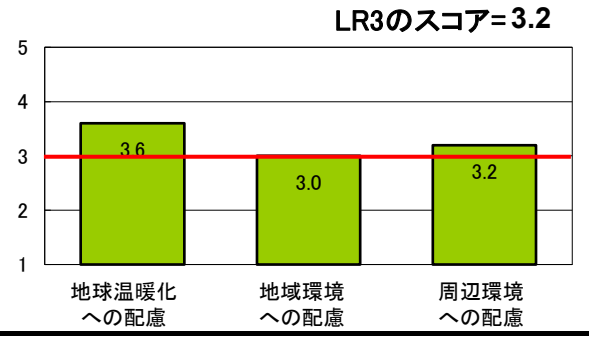
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.1



LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合

大阪市浪速区に建設される事務所ビルの計画である。
高効率な設備機器の導入により、環境負荷の低減に配慮した建物である。

その他

-

Q1 室内環境

リモコン等で照明制御が可能な計画とし、光環境向上に配慮している。

Q2 サービス性能

耐用年数の長い内装材・外装材・配管材料等を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

植栽による修景、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。

LR1 エネルギー

外皮性能を高め、LED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。

LR3 敷地外環境

燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　1.6

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	3.6	
配慮事項	WLC排出量削減に配慮		

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	4.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0	
配慮事項	特になし		

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		5.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	4.9	
配慮事項	断熱性能の高い建材を使用		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		2.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	2.2	
配慮事項	特になし		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

	住宅部分　(品確法等級)		非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	対象外	(相当)	0.81

	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	-	0.75